令和４年度 舗装診断士資格試験のご案内

一般社団法人　日本道路建設業協会

１．舗装診断士資格とは

「舗装の診断に関する一連の作業ができる高い専門知識を保有する技術者を認定する資格」であり、舗装の効率的な管理・更新に寄与するために、日本道路建設業協会が創設した民間資格です。なお、舗装の診断とは、既設舗装の調査・評価及び維持・修繕工法の選定・設計、補修計画策定の支援であり、また必要に応じてネットワークレベルでの補修計画策定支援も含めて行えるものとして位置づけています。

２．試験の概要

試　験　日	**令和４年６月26日(日)**
試　験　地	札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇
受験手数料	１６，５００円（消費税込）（記述式試験のみの場合は、８，２５０円（消費税込））
申込受付期間	**令和４年２月14日(月)～令和４年２月25日(金) 締切日の消印有効**
合格発表日	令和４年10月26日(水)　午前10時頃

３．受験資格

次表に示す区分①、②、③のいずれかに該当する者

区分	区　分　の　内　容
①	『1級舗装施工管理技術者』の登録者
②	『技術士（建設部門）』、『特別上級土木技術者・上級土木技術者※1』、『RCCM※2』のいずれかの資格と『2級舗装施工管理技術者』の登録者 ※1（公社）土木学会資格 ※2（一社）建設コンサルタンツ協会資格：Registered Civil Engineering Consulting Manager
③	令和３年度舗装診断士の択一試験のみに合格し、令和４年度受験申込時に択一試験免除申請を行い、記述試験のみで受験をする者

※区分①、②は、７年以上の舗装関連業務（計画、調査、設計、監理・監督、工事、試験、評価、技術開発等）の実務経験があり、さらにその中で、舗装の計画、調査、評価に関する１年、または３件（年数は問わない）以上の実務経験が必要です。

※１級・２級舗装施工管理技術者の資格未登録者は、必要保有資格には該当しないので受験できません。

※令和３年度に１級・２級舗装施工管理試験に合格された方は、舗装診断士の申込時点で資格登録者ではないので受験できません。

※実務経験は、令和４年３月31日現在で算定して下さい。

※区分③の令和３年度に択一試験に合格され、令和４年に択一試験免除申請を行い、記述試験のみで受験される方も、区分①、②で受験される方と同様に受験申込書類を作成し、**簡易書留郵便で受験申込をして下さい。**

４．受験申込書について

当協会ホームページ「http://www.dohkenkyo.or.jp」上に、受験申込書類の作成・印刷および受験の手引きがダウンロードできるシステム「舗装技術者資格　各種申込書類作成システム」を設置します。

受験を希望される方（**記述試験のみで受験される方も含む**）は、本システムで受験申込書類を作成・印刷し、受験申込書類と証明写真、住民票等の必要書類を当協会事務局に簡易書留で郵送することによって受験申込の受付が完了します。なお、舗装診断士資格試験では、紙による「受験申込書類」の販売は行いません。

《インターネットによる受験申込書類作成システム》（受験申込書類購入無しで作成･印刷が可能）

●システム設置期間：令和４年２月１日(火) 10：00頃 ～２月25日(金) 17：00まで

※本システムは、受験申込書類を作成するためのもので、インターネット上で受験申込が完了するものではありません。システムで作成・印刷した受験申込書類と証明写真、住民票等の必要書類を当協会事務局まで必ず簡易書留で郵送し、２月25日(金)（消印有効）までに、受験申込を行って下さい。

◎問合せ先：(一社)日本道路建設業協会 舗装技術者資格試験委員会 事務局（9:00～17:30 土・日・祝日は休みです）
〒104-0032　東京都中央区八丁堀2-5-1　東京建設会館３階　TEL. 03-6280-5038　FAX. 03-6280-5040

5．試験時間と内容

試験は、択一式（マークシート方式：3時間）および記述式（経験記述と専門記述：3時間）で実施します。

試験区分		試　験　内　容
択一試験		舗装に関する基礎知識、舗装の管理、点検・評価、補修の計画・設計、補修工事に関する知識及び技術者倫理等を問う
記述試験	経験記述	経験した業務経歴を基に業務の概要、その中で果たした役割、技術的問題点や課題と解決策、その評価等を簡潔に記述できる能力を問う
	専門記述	舗装の破損の写真、当該箇所の交通量、地域、気象、地形等の条件から推定される破損原因と根拠、実施すべき調査・試験、補修方法や道路建設時のデータ、供用年数、交通量のデータ等から破損の状況等を簡潔に記述できる能力を問う

なお、出題範囲等は、下表のとおりです。

出題範囲等

分　類	項　目	舗装診断士の知識として要求される事項等
基礎知識	①舗装技術の変遷	舗装技術（新設、補修）の変遷 補修（維持・修繕）の意義と必要性
舗装の管理	①アセットマネジメント	社会資本としての道路整備に関する基本的知識 アセットマネジメントによる補修の効率化
	②舗装マネジメントシステム	舗装マネジメント手法に関する知識
点検・評価	①舗装性能とその評価	舗装に要求される性能、舗装構造の評価に関する基本的知識
	②舗装の点検・調査技術	舗装の点検・調査・解析技術に関する知識とその適用
	③評価判定	舗装の破損および変状の評価・判定能力 （材料、製造、施工、気象、供用条件等）
	④安全・環境管理	現場調査・試験時の安全・環境管理対策
補修の計画・設計	①要求性能の設定	考慮すべき事項と舗装の性能指標
	②路面・構造設計	路面設計の定義と路面設計手法 舗装の材料設計および構造設計に関する総合的な知識 設計が舗装性能（力学特性・挙動）に及ぼす影響 橋面舗装の特殊性
	③排水設計	土工部の排水対策 橋面舗装の排水対策
	④維持・修繕工法	舗装の維持工法に関する総合的知識 維持工法が舗装性能に及ぼす影響 舗装の修繕工法に関する総合的知識 修繕工法が舗装性能に及ぼす影響
補修工事に関する知識	①使用材料	材料特性が舗装性能に及ぼす影響 舗装材料の製造・運搬に関する総合的な知識 製造や運搬が舗装性能に及ぼす影響
	②施工方法	舗装全般の施工に関する総合的な知識 施工方法が舗装性能に及ぼす影響 性能の確認・検査及び工事記録
	③安全・環境対策	維持・修繕工事における安全・環境管理対策
倫　理	①技術者倫理	舗装診断を行う技術者としての適正な倫理観